



電子の夢を創る

東洋電機株式会社

証券コード:6655

# TOYO ELECTRIC CORPORATION

Contents

1

トップインタビュー

妥協なき挑戦を続け、  
お客様とWIN-WINの関係を  
目指します。

## 第80期 報告書

2018年4月1日から  
2019年3月31日まで

- |   |               |    |           |
|---|---------------|----|-----------|
| 2 | 連結決算ハイライト     | 7  | 連結決算概要    |
| 4 | 中長期経営計画／トピックス | 9  | 社員インタビュー  |
| 5 | セグメント別概況      | 10 | 会社概要／株式状況 |



## 妥協なき挑戦を続け、 お客様とWIN-WINの関係を 目指します。

株主の皆様には日頃のご支援に心より感謝申し上げます。当社第80期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)を終了いたしましたので、ここに謹んでご報告をさせていただきます。

当期は売上高で前期を上回ったものの、原材料価格や運送費の高騰など原価率の上昇により、利益面では減益となりました。

今後はグループの機能の強化により、お客様から期待を寄せられる製品づくりに向けた連携を強めてまいります。

株主の皆様には引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役 **松尾 昇光**

### Q1 増収減益とのことですが、東洋電機のこの1年はどのようなものでしたか。

**A** 企業の設備投資は概ね増加傾向にあり、国内ではデータセンター関連や物流関連向けを中心に受注量は上向いてきました。ただ、この1年は原材料価格の高騰に加え、荷造運送費など輸送コストの上昇も激しく、原価率の上昇が利益を大きく圧迫しました。

当社の製品は、受注時に価格が決まるため、その後の原材料価格の高騰分を納品時に反映することが難しい面もあります。一部製品で価格の見直しの交渉を行いました。原価上昇分の補填には至りませんでした。

当期の売上高は久方ぶりに90億円の大台に達しました。受注環境の改善が続けば、今後の展開でも明るい見通しに繋がると考えています。

### Q2 国内・海外の動きをお聞かせください。米中の貿易摩擦などの影響はあったのでしょうか。

**A** 国内の制御装置関連事業は、変圧器部門やエンジニアリング部門で売上を大きく伸ばしたものの、原材料価格の高騰などから原価率が悪化しました。機器部門は、エレベータセンサを国内生産から海外生産に切替えた際、一時的に販売期間に間が生じたほか、韓国への輸出を予定していた空間光伝送装置が半導体関連の設備投資が先送りされ、売上は減少しました。こちらは米中貿易摩擦の影響といえるかもしれません。

昨年4月に新設したデバイスソリューション部門は、東京オリンピック向け施設関連の表示器や鉄道関連の需要が拡大したことにより、増加しました。

中国の子会社である南京華洋電気有限公司は、エレベータセンサと制御盤の2本立てで事業を展開しています。盤事業は売上を伸ばしたものの、エレベータセンサは大型建設の需要が沿岸部から内陸部に移行しつつあり、引き続き需要はあるものの、内陸部では高付加価値型のエレベータセンサの装着率はまだまだ低いのが実情です。タイ子会社であるThai Toyo Electric Co.,Ltd.を含む海外事業は減収減益となっています。

### Q3 市場の変化にいかによやく対処していくかが課題となっています。この1年はどのような取り組みを行いましたか。

**A** 当社はエンジニアリング部門、機器部門、変圧器部門といった縦割り組織で長い間事業を行ってきました。それぞれが営業員、技術者、生産要員、お客様を抱えてきたのです。そのため、ややもすると部門横断の連携が不十分でした。

東洋電機グループが生き残るためには、部門の垣根を越えて全社員が一丸となって新しいことに挑戦しなければなりません。

その反省もあり、数年前から開発成果発表会を部門横断で行ってきました。開発に関わるすべての社員が、隣の仲間たちがどのような開発を行っているのか、何に苦労しているのか、情報の共有が必要と考えたのです。本年の開発成果発表会では、新しく発足したデバイスソリューション部門やR&D部門のメンバーも加わり、活発な発表会となりました。私が見る限り、年を追うごとに各部門の開発ストーリーも明確となり、期限を区切って開発する姿が鮮明になっています。

現在、私どものお客様の工場では人手不足もあり、保全部門が手薄になっています。工場設備に不具合が出る前にAI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)の技術を使った対応ができないかと考えているところです。

### Q4 展示会などにも積極的に出展しているようですが、その狙いについてもお聞かせください。

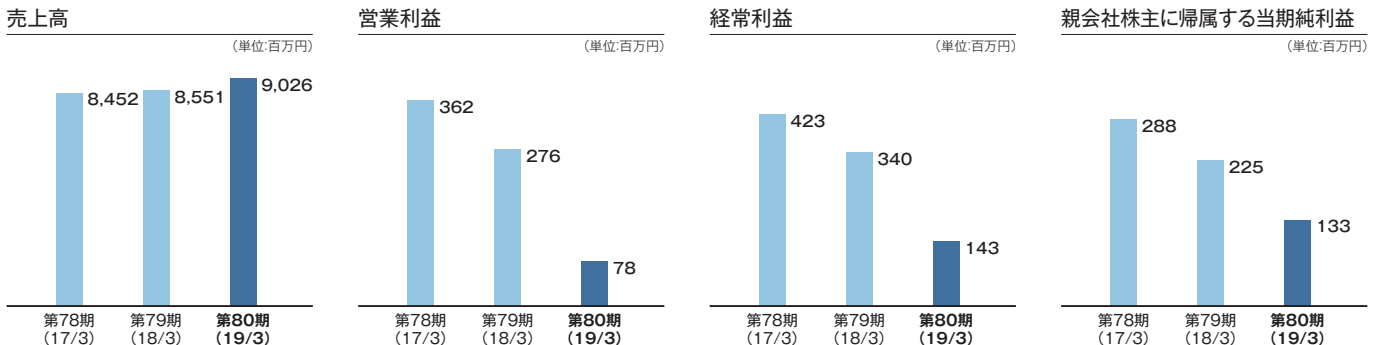
**A** これまでは電設工業展など電気設備関連が主体でしたが、この1年は下記の多彩な展示会に出展しました。

- ・ワイヤレスジャパン2018(5/23(水)~5/25(金)東京ビッグサイト)
- ・国際物流総合展2018(9/11(火)~9/14(金)東京ビッグサイト)
- ・CEATEC JAPAN 2018(10/16(火)~10/19(金)幕張メッセ)
- ・メッセナゴヤ2018(11/7(水)~11/10(土)ポートメッセなごや)
- ・新聞製作技術展(JANPS2018)(11/28(水)~30日(金)東京ビッグサイト)

これらの展示会では、従来は繋がりなかった異業種からの来場者も多く、新しい出会いがあります。当社のブースに関心を示していただいた来場者の声を聞き、翌年の展示物にその声を反映することで、新しい関係が芽生えつつあると期待しています。

たとえば国際物流総合展2018では、イーサネット対応の空間光伝送装置「SOT-USシリーズ」を出展しました。この装置は光無線LANで画像を安全に高速送信できるものです。物流現場の荷捌きの確認、防犯監視でも活用できると期待されています。物流関連の売上は当社の新しい柱になりつつあります。CEATEC JAPAN 2018に展示したギガビット通信装置「MAGIC BEAM」は、航空宇宙の通信に使えると、関心が集まっています。

## 連結決算ハイライト



**Q5** この3月には組織変更や人事異動も行われました。改革に向けた意欲の表れでしょうか。

**A** 今回の異動はそれほど大規模なものとは考えていません。これまでやってきた組織変更の不足分を補い、部門間の紐づけを変えたものです。海外市場を専門にしてきた市場開拓部を市場開拓室に替え、機器事業部の中のグローバル営業課にその役割を移しました。市場開拓室は、R&D部門と営業推進の役割を担います。

また、発足して1年が経過したデバイスソリューション部門に管理部を新設しました。製造部隊を持ち、生産管理の機能を強化していきます。

社内機能では、原価率の上昇への対応を急がなければなりません。エレベータセンサの廉価版の開発に続いて、一品ごとの受注生産であった変圧器なども標準品または半標準品という形での作り込みができれば、価格競争力だけでなく、納期の短縮も図れ、お客様と当社の双方にWIN-WINの関係をもたらします。

**Q6** 人手不足が叫ばれています。人材をいかに育てるかがテーマとなっています。今後の舵取りと併せて抱負をお聞かせください。

**A** 本年も10名の新入社員が入社してくれました。貴重な戦力としていかに育てていくかが問われています。

当社は部門によって繁忙期が異なり、受注状況によってとことん忙しくなるというケースが見られます。そうした部署では自分の意思をなくして残業などに追われることもありました。仕事と家庭の両立は、今日

ではワーク・ライフ・バランスと呼ばれ、半ば常識となりつつあります。一人ひとりの仕事のやりがいと、家庭における生活が両立できるよう、働き方の改革を目指し、東洋電機グループで働いてよかったと思える会社にするのが私の願いであり、責任です。

さて、わが国ではこの秋に消費税の増税が迫るとともに、2020年の東京オリンピック／パラリンピック後をにらんだ景気の調整局面も予想されます。

東洋電機は、国内市場においてはコア技術の成長による競争優位性の向上と事業戦略に合致した新製品の投入で成長市場や新規事業分野へ積極的な展開を図ります。海外市場では中国、タイ王国の在外子会社との連携強化を図り、中国や東南アジア市場への事業拡大に努めます。

また、粗利益率を意識した生産性の向上や適正利益の確保、資本効率の向上により企業価値を高め、事業基盤の更なる強化に努めてまいります。

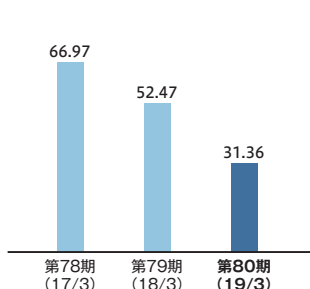
引き続き、株主の皆様のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



連結決算ハイライト

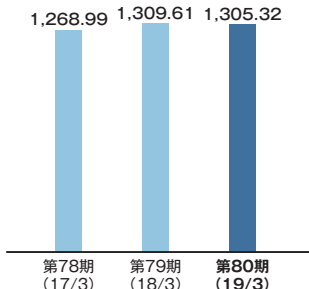
1株当たり純利益

(単位:円)



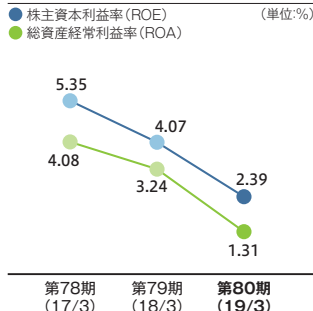
1株当たり純資産額 (BPS)

(単位:円)



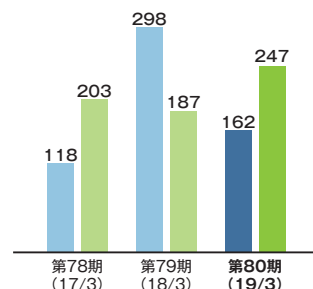
株主資本利益率 (ROE) / 総資産経常利益率 (ROA)

(単位:%)



設備投資額 / 減価償却費

(単位:百万円)



## 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、各事業部門の売上規模の拡大、より強固な経営基盤の構築、人を活かした経営の推進により「成長性」「収益性・効率性」「人材の育成・企業価値向上」を柱としたバランス経営を推進し、事業の継続的かつ健全な発展を目指してまいります。

### 2019年度～2021年度 3ヶ年経営基本方針

事業の持続的かつ健全な発展を目指す ～変革への挑戦～

**成長性** ▶ 経営資源の効率的投入による売上規模の拡大

成長させる事業領域の強化、価値創出の開発推進

**収益性・効率性** ▶ より強固な経営基盤の構築

生産性向上、適正利益の確保、資本効率の向上

**人材の育成・企業価値向上** ▶ 働き方改革、CSRの推進

働き甲斐ある職場づくり、社会・顧客・従業員・株主満足

#### ① 売上規模の拡大

コア技術の成長・発展と粗利益を意識した営業戦略により競争優位性を向上させ、売上規模の拡大を目指してまいります。また、事業戦略に合致した製品の投入、海外・国内成長市場への新規・深耕開拓、在外子会社（南京華洋電気有限公司、Thai Toyo Electric Co.,Ltd.）との連携強化により 売上拡大を目指してまいります。

#### ② 生産性向上と働き方改革

各製品に適した生産技術のレベルアップにより全社規模での生産性向上を目指してまいります。また、時間あたりの生産性に対する意識向上を図り、働き方改革の推進と経営体質の強化に努めてまいります。

#### ③ 技術と開発

コア技術製品の競争力強化や次世代に繋がる技術・製品開発の推進、戦略的な知的財産マネジメント、オープンイノベーションの活用による新製品のリードタイム短縮により全社的な技術レベルの向上に努めてまいります。

#### ④ 人材育成と環境改善

女性活躍・ダイバーシティの取り組み推進により働き甲斐ある職場環境を整備し、将来を担う人材の育成や技術の伝承を推進してまいります。内部統制システムやリスク管理体制を充実し、コーポレートガバナンスとコンプライアンスの徹底、法令遵守の労務管理と安全衛生活動の啓蒙を進めてまいります。また今後、健康経営手法の導入を検討してまいります。

#### ⑤ その他の取り組み

震災等の緊急事態に備え、事業継続計画（BCP）に基づき、事業継続マネジメント（BCM）に引き続き取り組んでまいります。

## 目標とする経営指標

当社グループは、適切な利益を安定的に確保するために、経営体質の強化を推進し、企業価値を高めることを重要な経営目標としています。

この目標を達成するために、売上高、経常利益、総資産経常利益率（ROA）を重要な経営指標と位置づけており、数値目標を以下のとおり設定しています。

（連結）

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売上高(百万円)	9,084	9,619	9,956
経常利益(百万円)	274	384	497
総資産経常利益率(%) (ROA)	2.4	3.3	4.2

## 「大縣神社 姫之宮豊年祭」を斎行しました

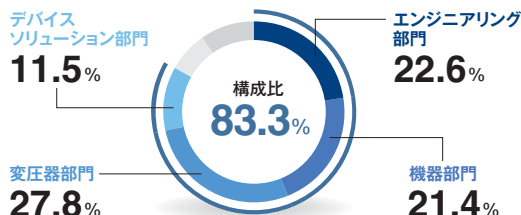
当社は、本年3月に「尾張国二宮・大縣神社姫之宮豊年祭」で大鏡餅の奉納を仰せつかり、3月2日に奉納用大鏡餅を作り、10日にパレードおよび大鏡餅奉納を行いました。10日は小雨の中、社員が力を合わせ、無事にパレードおよび大鏡餅奉納を終えました。

当社は、このような地域貢献活動より、地域経済の活性化に尽力してまいります。



## 1 国内制御装置関連事業

売上高 **7,519** 百万円  
前期比8.4%増



## エンジニアリング部門

売上高 **2,039** 百万円 [前期比16.1%増]

エンジニアリング部門の事業は、業種業界ごとに異なる制御システムを提供しております。当事業の内、搬送制御装置分野や印刷制御装置分野が増加したことなどにより、売上高は2,039百万円(前期比16.1%増)となりました。

## 主要製品

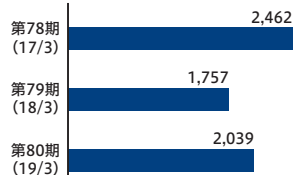
- オンデマンドフォーム印刷機電装品
- インテリジェント多機能リレー (IPR)
- 宛名紙印刷搭載機

宛名紙印刷搭載機



## 売上高推移

(単位:百万円)



## 機器部門

売上高 **1,931** 百万円 [前期比10.0%減]

機器部門の事業は、光技術を応用した様々な産業設備用機器を自社開発し、自社製品として提供しております。当事業の内、センサ分野や空間光伝送装置分野が減少したことなどにより、売上高は1,931百万円(前期比10.0%減)となりました。

## 主要製品

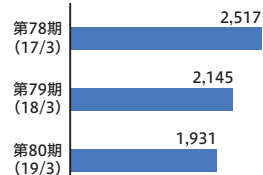
- 空間光伝送装置
- エレベータ・エスカレータ関連機器



空間光伝送装置

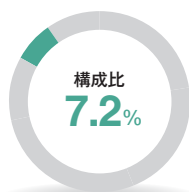
## 売上高推移

(単位:百万円)



## 2 海外制御装置関連事業

売上高 **653** 百万円  
前期比11.3%減



海外制御装置関連事業は、当社グループの海外企業2社が事業を展開しており、中国南京市にある南京華洋電気有限公司は、中国国内向け盤関連製品の製造販売や、中国国内やタイ王国などに向けたエレベータ関連センサの製造販売を行っております。また、タイ王国にある Thai Toyo Electric Co.,Ltd.は、南京華洋電気有限公司から輸入したエレベータ関連センサの組立・検査・販売を行っております。

当事業は、アジア市場でのエレベータセンサの需要が縮小したことなどにより、売上高は653百万円(前期比11.3%減)となりました。

## 主要製品

- 盤関連製品  
(南京華洋電気有限公司のみ)
- ・ 高圧受配電盤
- ・ コントロールセンタ
- ・ PLC応用制御盤

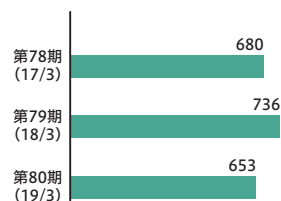


C型コントロールセンタ

- エレベータ関連製品  
(南京華洋電気有限公司と Thai Toyo Electric Co., Ltd.)
- ・ マルチビームセンサ
- ・ かご位置確認用センサ

## 売上高推移

(単位:百万円)



国内制御装置関連事業は、当社グループの中核事業として、日本国内を中心に事業展開しております。当事業は4部門から構成されており、その内、エンジニアリング部門、変圧器部門、デバイスソリューション部門の売上高が増加したことなどにより、売上高は7,519百万円(前期比8.4%増)となりました。

(注)2018年4月1日付の会社組織の一部変更により、デバイスソリューション部門を新設いたしました。これに伴い、組織の変更が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、各部門の前年同期比を記載しております。

### 変圧器部門

売上高 **2,505** 百万円 [ 前期比21.2%増 ]

変圧器部門の事業は、当社が設立以来営んでおり、受配電用変圧器から機械設備用変圧器などを提供しております。当事業は、データセンタおよび電気炉関連の需要が拡大したことなどにより、売上高は2,505百万円(前期比21.2%増)となりました。

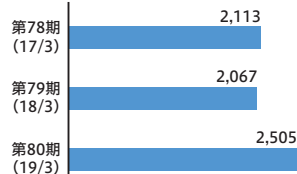
#### 主要製品

- 乾式変圧器
- 耐雷変圧器
- モールド変圧器
- 始動リアクトル



乾式変圧器  
TKHⅢシリーズ

#### 売上高推移 (単位:百万円)



### デバイスソリューション部門

売上高 **1,042** 百万円 [ 前期比8.2%増 ]

デバイスソリューション部門の事業は、これまで培ってきた商品開発・システム開発の経験を基に、新しい商品やソリューションを提供しております。当事業の内、表示器分野やソリューション向け装置分野が増加したことなどにより、売上高は1,042百万円(前期比8.2%増)となりました。

#### 主要製品

- 省配線型搬送コントローラ(MRC)
- 交流電力調整器
- 情報表示器
- マジックビー



省配線型搬送コントローラ  
(MRC)

#### 売上高推移 (単位:百万円)



## 3 樹脂関連事業

売上高 **853** 百万円

前期比3.1%減



樹脂関連事業は、当社グループの東洋樹脂株式会社が開展している樹脂リサイクル事業です。当事業は、世界的な原材料不足の影響から生産量が減少したことなどにより、売上高は853百万円(前期比3.1%減)となりました。

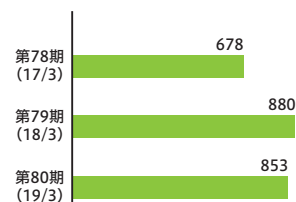
#### 主要製品

- 廃プラスチックのリサイクル
- リサイクル樹脂ペレットの生産・販売
- プラスチックのコンパウンド受託加工
- 樹脂パウダーの生産



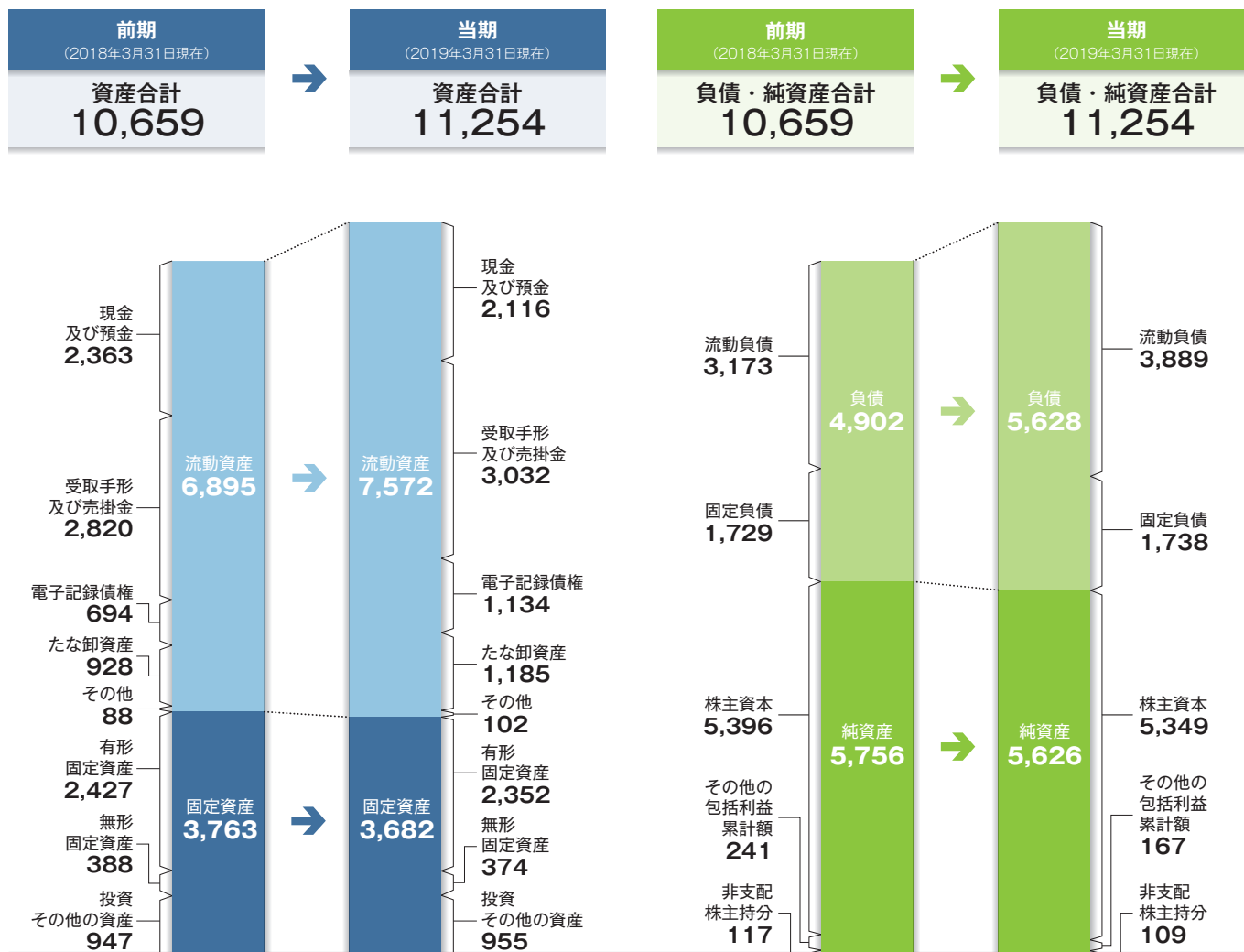
樹脂ペレット

#### 売上高推移 (単位:百万円)



## 連結決算概要

### 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

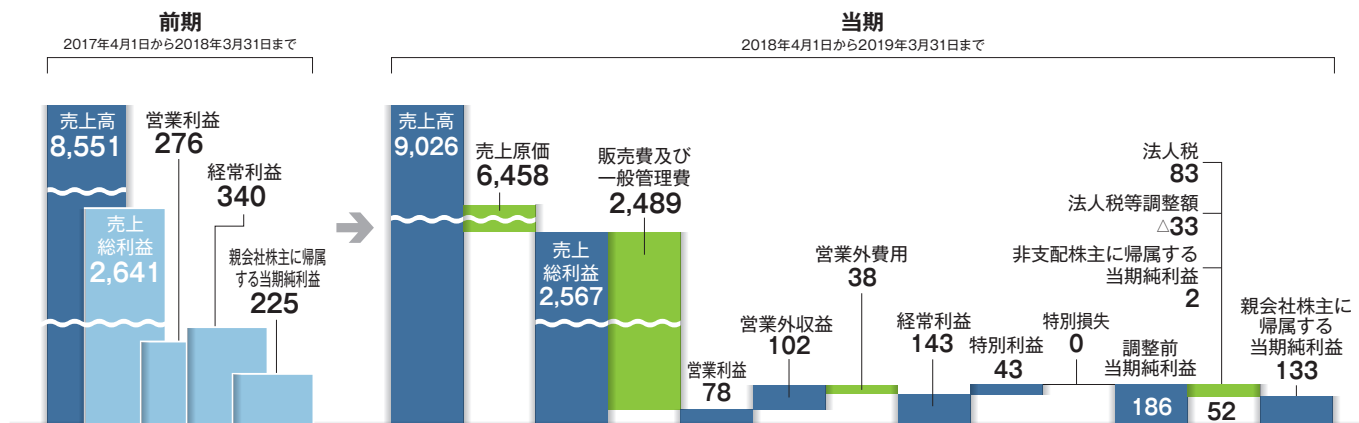


#### Point

総資産は、電子記録債権ならびに受取手形及び売掛金が増加したことなどにより前期末比595百万円増加し、負債は電子記録債権ならびに短期借入金が増加したことなどにより前期末比725百万円増加しました。なお、純資産は、自己株式の取得等による減少などにより前期末比129百万円減少しました。



連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



Point

当期は、国内外の成長市場への新規・深耕開拓をはじめ、原価を低減した標準品の開発、高付加価値な新製品開発を行うなど、事業基盤の強化に努めてまいりました。売上高は、エンジニアリング部門ならびに変圧器部門の売上が増加したことなどにより前連結会計年度比5.6%増収となりました。利益面では、原材料価格の高騰などから原価率が悪化したことにより、営業利益、経常利益ともに減益となりました。その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は133百万円となりました。

連結キャッシュ・フローの概要 (単位: 百万円)



Point

当期の現金及び現金同等物は、前期末に比べ115百万円減少し、1,484百万円となりました。営業活動の結果使用した資金は、売上債権ならびにたな卸資産の増加などにより320百万円となりました。投資活動の結果使用した資金は、無形固定資産の取得による支出などにより100百万円となりました。財務活動の結果得られた資金は、短期借入金増加などにより313百万円となりました。



コツコツ  
自分を  
もつと  
鍛えたい

経営管理本部  
企画部 企画課

藤村 瞳

## 経営判断に必要な情報を取り扱う

5年前、新卒で入社しました。大学では簿記を勉強しており、その知識も活かせる現在の部署に配属されました。主な仕事は、日々の受注実績や売上の集計業務。時にはその実績と予算や前年実績と対比し、計画の進捗度を調べます。また、品種別の動きや製品価格の動向、新製品の伸びなどについても調べ、上司に報告しています。

この仕事は地味かもしれませんが、経営判断には欠かせません。自分では自動車のナビ情報か山登りの地図のようなものだと思っています。

## 企業法務の知識を勉強したい

入社から5年を経て、ようやく会社全体を見渡せるようになり、今は決算の手伝いも始めています。

少し余裕も出てきたせいか、最近ではもう少し広い視野と知識が必要だと感じています。たとえば企業法務という分野がありますが、そこでは株主総会や取締役会、内部統制などの業務もありますし、

最近ではコンプライアンスやコーポレートガバナンスといった知識も必要です。そうした企業法務に関わる知識の習得も必要だと思い、独学ですが少しずつ勉強を始めています。

## 運動不足解消で始めたトレーニング

あまり外出が好きではありませんでしたが、学生時代の卒業旅行で初めて海外へ行き、価値観が変わりました。日本とは異なる文化に触れ「もっといろいろなものを見たい」と思うようになりました。昨年の10月には、社員旅行でカンボジアに行きました。蒸し暑い熱帯の空気の中でアンコールワットの遺跡群を歩いたのですが、その荘厳な佇まいに感動しました。今では旅行が趣味になりました。

もう1つ。運動不足の解消のため、地元のジムに行っています。1回500円の料金にも関わらず、「もっと筋肉をつけなさい」とトレーナーさんのアドバイスがありました。

「あなたは器用なタイプではない。コツコツやって何かを身に付けなさい」。この言葉は、学生時代の恩師の一言です。今は頭に知識を、身体に筋肉を、コツコツつけていきたいと思っています。

会社の概況 (2019年3月31日現在)

商号	東洋電機株式会社
設立	1947年(昭和22年)7月
資本金	10億3,708万円
本社・春日井工場	〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
神屋工場	〒480-0393 愛知県春日井市神屋町字引沢1-39
営業所	東京、名古屋、大阪
関係会社	東洋樹脂株式会社(愛知県小牧市)
	東洋電機ファシリティーサービス株式会社(愛知県春日井市)
	東洋板金製造株式会社(愛知県春日井市)
	南京華洋電気有限公司 (中華人民共和国江蘇省南京市)
	Thai Toyo Electric Co., Ltd. (タイ王国チョンブリ県)
主要取引銀行	百五銀行、商工中金、三井住友銀行、名古屋銀行
従業員数	224名(連結465名)

役員 (2019年6月21日現在)

代表取締役社長執行役員	松尾昇光
取締役専務執行役員	松村和成
取締役常務執行役員	丹羽基泰
取締役常務執行役員	奥村光宏
取締役相談役	松尾隆徳
取締役(監査等委員)	森正一
取締役(監査等委員)	葛谷昌浩
取締役(監査等委員)	井上誠

(注) 取締役 葛谷正浩氏および井上誠氏は、社外取締役であります。

株式の概況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	9,000,000株(普通株式)
発行済株式の総数	4,694,475株(自己株式467,549株を含む)
株主数	1,551名

大株主 (2019年3月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
有限会社城西	427千株	10.11%
東洋電機取引先持株会	288千株	6.83%
東洋電機従業員持株会	259千株	6.14%
株式会社商工組合中央金庫	232千株	5.50%
株式会社百五銀行	214千株	5.06%
松尾隆徳	185千株	4.39%
トーヨーテクノ株式会社	144千株	3.42%
第一生命保険株式会社	125千株	2.95%
日本生命保険相互会社	125千株	2.95%
松尾昇光	122千株	2.89%

(注) 持株比率については、自己株式(467,549株)を控除して算出しております。

株式分布状況 (2019年3月31日現在)



		ご注意
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	<p>1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。</p> <p>2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。</p> <p>3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。</p>
期末配当金受領株主確定日	3月31日	
中間配当金受領株主確定日	9月30日	
定時株主総会	毎年6月	
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711（通話料無料）	
上場取引所	株式会社名古屋証券取引所 市場2部（コード6655）	
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
公告のホームページアドレス	<a href="http://www.toyo-elec.co.jp/">http://www.toyo-elec.co.jp/</a>	

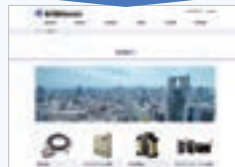
## ホームページのご案内



製品情報



事業紹介



IR情報



最新の製品情報やIR情報などを分かりやすく掲載しています。

<http://www.toyo-elec.co.jp/>

東洋電機

検索

お問合せ先

**東洋電機株式会社**〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156  
TEL.0568-31-4191 FAX.0568-31-8096

この報告書は植物油インキを使用しております

